

OTARU UNIVERSITY OF COMMERCE



小樽商科大学広報誌

vol.190

2021 AUTUMN

GAKUEN DAYORI

小樽商科大学 学園だより



● CONTENTS ●

- 新任教員のご紹介..... 1
- 学長からのメッセージ..... 2
- 公益社団法人 緑丘会の紹介..... 3
- キャリア支援センター開催イベント / 就職相談の実施 .. 4
- 小樽商科大学創立 110 周年記念 ICT サミット..... 5

- オンライン開催 緑丘祭 について 5
- ピアサポートに参加してみませんか..... 6
- 小樽笑店活動について 6
- アルコールと安全につきあいましょう..... 7
- 編集後記 / ブログ「商大くんがいく！」 7

新任教員のご紹介

- ①出身地 ②研究分野 ③担当授業科目 ④趣味
⑤商大に着任しての感想 ⑥商大生に期待すること



令和3年度4月に小樽商科大学に着任された、4名の教員の方々を紹介するよ！
みんな、先生方の名前と顔を覚えてね！



商学科 ^{いし い}石井 ^{たか かず}孝和 准教授

- ①北海道札幌市 ②財務会計 ③国際会計論、簿記原理 ④スポーツ観戦、旅行
⑤自然に囲まれてコンパクトにまとまった環境が勉学に励むのに適していると感じます。
まだ学生のみなさんとは対面で接する機会がないので、授業やゼミ等でお会いできることを楽しみにしています。⑥学生時代は比較的自身の裁量で自由に活動できることが多いかと思しますので、商大生としてできることに積極的に取り組んでいただきたいです。



商学科 ^{た だ}多田 ^{れい}侑 准教授

- ①奈良県奈良市 ②消費者行動論、マーケティング・リサーチ ③流通システム論II
④旅行、スポーツ観戦、お笑い鑑賞 ⑤人生初の北海道生活になりますが、小樽の自然豊かな環境にとっても魅了されています。⑥大学のコミュニティをフルに活用し、自らの関心事を徹底的に探求してもらえたらと思います。その手がかりは、「内」の世界にあるかもしれませぬし、「外」の世界に存在するかもしれません。



社会情報学科 ^{じょーだん}JORDAN IV ^{ちやーるず}Charles ^{はろど}Harold 准教授

- ①アメリカ マサチューセッツ州レスター ②情報科学での形式論理・アルゴリズム
③学部：オペレーションズ・リサーチ（昼、夜）、計画科学I、計画科学（夜）
大学院：マネジメントサイエンスI、マネジメントサイエンスII ④アウトドア、写真
⑤小樽が大好きで前から小樽に住んでいます。登山や自然が大好きで、坂の上のキャンパスは非常に喜びです。⑥学生時代はかなり自由で、興味のあることを勉強するチャンスです。卒業等の目的地を目指しながら、途中の旅と景色を楽しんでほしいと思います。



CGS 教育支援部門 ^{たけ なか}竹中 ^{やす ひろ}康弘 准教授

- ①北海道室蘭市 ②数理・データサイエンス(グローバルのコンサルティング会社に勤める企業人でもあります。そういった方面の話に興味ある方も気軽にご連絡ください) ③データサイエンス関連科目、システム戦略論 ④海外旅行、キャンプ、ゲーム ⑤坂道のある港町が大好きでして来るたびに心から癒されます。どこでも働けるようになってきた今の時代、この環境はとて未来を感じます。⑥学生のうちにしかなかなかできないこと(興味・好奇心のおもむくままに勉強・遊び)にいそしんでください。今でも学生時代の思い出に浸り、その記憶で頑張れることがあります。

学長からのメッセージ

創立110周年を迎えて



本学は1911年に我が国第5番目の高等商業学校として設立され、今年110周年を迎えました。例年であれば創立記念日の7月7日に記念式典を行う予定でしたが、新型コロナウイルスの感染状況に鑑み、今年の記念式典は10月15日に挙行することとしました。変異株による感染拡大も懸念されますが、ワクチン接種率が上がることを前提に対面で記念式典を行う予定です。

110周年記念事業として、まず、7月16日にICTサミット「ICTが北海道を日本の先端地域に変える」（主催：日本経済新聞社、共催：緑丘会、本学）を開催しました。本学の卒業生であるダイキン工業（株）社長、十河正則氏による基調講演を含め大変興味深い講演が続き、学生の皆さんにとって、自分のそして北海道の未来を考えるよいきっかけになったと思います。会場である160番教室には50名ほどの学生が参加し、WEBで参加した人も400名を超え、盛況のうちにセミナーを終えることができました。

10月7日にはかつて本学にあった智明寮の有志会による寄贈講演が開催されます。元日本銀行総裁の白川方明氏が来学され「学ぶことの大切さ」をテーマに講演されます。専門の金融ではなく、学生の皆さんに対して今後の人生の指針となるお話しをして頂く予定です。多くの経験に裏打ちされたお話しになると思います。大変貴重な機会ですので、是非多くの皆さんに聞いて頂きたいと思います。

10月15日は110周年の記念式典に続き、午後に「新たな価値創造～北海道の未来へつなぐ挑戦」と題したシンポジウムを緑丘会、北海道新聞社と本学が主催します。このシンポジウムでは北海道経済の未来について、主に食や観光をテーマに議論します。本学のビジネススクールの卒業生である石屋製菓（株）社長、石水創氏による基調講演に続き、本学の卒業生、さらに来年4月に経営統合する帯広畜産大学、北見工業大学の卒業生で各界で活躍されている方々をお招きして、パネルディスカッションを行い、それぞれの立場から北海道の未来について語って頂きます。

一連のセミナー、シンポジウムは本学が地域の「知の拠点」であることを示すものです。一方で、これらのシンポジウムや講演を通じて学生の皆さんにも通常の授業などでは得られない様々な知見に接してもらいたいと思います。そのなかで自分の琴線に触れる言葉との出会いがあるはずです。是非、学生時代にできるだけ多くの人に会い、書籍を読み、心にしみる言葉を蓄え、自分の将来を考える糧にしてほしいと思います。

第11代 小樽商科大学長

穴沢真



公益社団法人 緑丘会の紹介

公益社団法人 緑丘会 事務局長
永井 健夫 (1976年卒業)

学生の皆さん、こんにちは。コロナ禍により授業やクラブ活動などに大変ご苦労されていると思いますが是非とも力強く学園生活を過ごされるようお願いしております。

さて、これから小樽商科大学同窓会『緑丘会』の紹介をさせていただきます。

緑丘会は小樽商科大学卒業の同窓生で組織されており、その取り組みで最も大切にしている事が大学及び学生への支援です。大きくは三つの活動を行っております。

一つ目は学生への就職支援です。300社ほどの企業を大学にお招きして行う就職活動のための「企業説明会」や東京での「就活体験会」を学生支援課と協力して実施しておりますが、コロナ禍で今年の企業説明会はオンラインでの開催となりました。また、学内に就職支援室を設置し、就職に関する相談をお受けしております。更には、皆さんのキャリア形成の一助としてエバーグリーン講座の内容をまとめた「社会人基礎力白書」の発行も行っております。

二つ目は資金援助です。TOEIC・IP テストの受験費用、就活のための資金貸与、優秀な学生を対象とした奨励金の授与、留学生への奨学金授与などを行っており、小樽商科大学後援会と併せて年間2,000万円以上の助成を大学にさせて頂いております。

三つ目はOB・OGによる講座の提供です。「エバーグリーン講座」と「グローバルマネジメント副専攻プログラムⅡ」への講師派遣を行っております。

また、その他として同窓誌『緑丘』を発行しております。この会報には若手OB・OGや学生が執筆するコーナーがありますので、ご寄稿をお待ちしております。

ここで、来年ご卒業される皆さんにお知らせします。4年前から緑丘会の主催で、学位記授与式終了後、学外で「卒業記念祝賀会」を開催してきました。卒業生、教職員、OB・OGが絆を深める会ですが、2年続けてコロナ禍で中止となりました。来年の開催も予断を許しません、開催の折は是非ご参加頂きたいと思っております。

ここまでは、皆さんが在学中に緑丘会と関わる内容ですが、卒業後は同窓生同士の交流や人脈を拓ける場が用意されております。北海道、東北、関東、東海、京阪神、福岡など全国に24の支部があり、皆さんをお待ちしております。各支部では講演会、芋煮会、バーベキュー大会、忘年会、新年会、女子会など各種イベントで皆さんをお迎えし研鑽・親睦を図っております。特に4年前からは東京にて主に平成二桁卒業の若手を対象とした「緑丘ビジネス塾」を開講しております。各界で活躍されている同窓の先輩が講師となり、社会人としてのキャリアアップのために示唆に富んだメッセージを語ってくれます。現在はコロナ禍もあり、オンラインで全国に向けて講師のお話を届けております。2年前からは札幌でも「ビジネス交流会」がスタートしました。コロナ禍でしばらく休止しておりましたが今年はオンラインで開催します。『小なれど絆が強い同窓会』です。就活やプライベートでも東京に来られる際には、日本一高い場所にある池袋サンシャイン60の57階に事務所を構える緑丘会館に気軽にお立ち寄り下さい。スタッフ一同でお待ちしております。



東京支部講演会(対面&リモート) 2020.11.28



仙台緑丘会芋煮会 2019.10.19

キャリア支援センター開催イベント

(2021年9月～2022年3月開催分)

キャリア支援センターでは、インターンシップ及び就職活動支援を推進しています。特に就職活動支援では学生のみなさんの就職活動がスムーズに進むように様々な就職活動支援のガイダンス・セミナーを開催し、就職活動本番へ向けての準備をお手伝いしています。ぜひ積極的に参加してください。



月	日	事項
9	29	第2回就職ガイダンス
10	6	留学生対象就職ガイダンス
	12・14	ミニ公務員ガイダンス
	13	緑丘企画講座② WEB 対策講座・首都圏就活対策講座
	20	公務員ガイダンス (国立大学法人等職員ガイダンス)
11	27	緑丘企画講座③ 業界研究・社会研究の進め方講座
	10	業界研究セミナー① (金融業界) 公務員座談会
	17	業界研究セミナー② (北海道のまちづくり関係業界)
	24	業界研究セミナー③ (IT 通信業界)

月	日	事項
12	1	業界研究セミナー④ (衣食住に関する業界)
	8	緑丘企画講座④ ワークルールセミナー
	15	2022 冬 商大インターンシップ合同説明会
1	12	緑丘企画講座⑤ (1) 緑丘企業等セミナーガイダンス (2) 「就活直前対策講座」 (3) OB・OG 交流会案内
	2月中	東京 OB・OG 交流会
3	1	キャリア形成支援のための緑丘企業等セミナー開始 (参加企業 200 社以上を予定)

スケジュールは諸事情により、開催日及び内容が変更になる場合があります。

最新の情報は、キャリア支援センターの電子掲示板・ホームページにて随時お知らせしますので、確認願います。

PICK UP!

緑丘企画講座

就活支援のために開催しています。講座の内容は、WEB 対策講座・業界研究・会社研究、就活直前対策講座等があります。

業界研究セミナー

同一業界から3社のパネラーをお招きし開催しています。今年度も11月から4回に分けて開催します。参加する企業が決まりましたらホームページ等でお知らせします。

公務員関係

公務員ガイダンスでは公務員試験の種類・試験制度・勉強内容・試験スケジュール等を説明します。公務員座談会では試験に合格した先輩達の体験談を聞くことができます。

緑丘企業等セミナー

学内で開催する合同企業説明会です。商大生の採用に積極的な企業が全国から集まります。昨年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、オンラインで実施しました。

就職相談の実施

キャリア支援センターでは、企業人事経験者やキャリアカウンセラー有資格者等、就職指導経験豊富なキャリアカウンセラーが学生の皆さんの相談に専門的に応じています。

相談内容は、「就職活動の流れ」、「自己分析・自己理解」、「業界・職種選択」、「書類 (ES 等) の添削」、「面接対策 (模擬面接等)」、「内定辞退・内定先絞込み」など多岐にわたります。※昨年度から Web 会議システムを利用した遠隔相談を実施しています。



▲就職相談の様子 (遠隔相談)

小樽商科大学創立110周年記念 ICT サミット

「ICTが北海道を日本の先端地域に変える」を開催

小樽商科大学では、創立110周年記念イベントの一環として、7月16日(金)、「日経デジタルフォーラム ICTが北海道を日本の先端地域に変える」を開催しました。

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、会場での参加者を限定し、オンラインでの配信を行い、約700名が視聴しました。

サミットの冒頭で、穴沢学長は「距離の克服は北海道において長年の課題であり、本日のテーマであるICTの活用は非常に有益である。北海道が距離の壁を越え、新たな道を開くことを期待している。」と述べました。

続いて、本学の卒業生である十河政則ダイキン工業株式会社代表取締役社長兼CEOにより、「ICTが拓く北海道の未来の可能性」と題した基調講演があり、「社員には「イノベーターたれ」と伝えている。答えがないニューノーマル時代において、問を立てていくことが重要である」と述べました。

その後、十河代表取締役を含めた4名による講演が行われ、会場の参加者は熱心な様子で聞き入っていました。

サミットの最後には、質疑応答の時間が設けられ、学生からは「20代から30代をどのように過ごせばよいか」、「学生時代にどのような経験をしておけばよいか」など社会で活躍する講師陣に多くの質問が寄せられました。



(会場の様子)

オンライン開催

緑丘祭

について

緑丘祭実行委員長 早坂 優佑

本年度第69回目となった緑丘祭は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を考慮し、初めてのオンライン開催となりました。私たち実行委員としても2年ぶりの緑丘祭で、本来であれば対面での開催が一番望ましいと考えていたのですが、委員で話し合いを重ね、最終的には開催することを第一に考えた決断となりました。



準備期間はとにかく初めての試みばかりで、皆が戸惑っている印象を受けました。対面での学校祭よりも「人に見てもらおう」ための準備を意識して進め、少しでも多くの方に楽しんでもらえる緑丘祭を目指し、動画の撮影や編集作業に励みました。

そして迎えた当日、いくつかのトラブルはあったものの、学生支援課の皆様をはじめとする多くの方々のご協力により、なんとか無事に閉祭までたどり着くことができました。

来年度第70回という節目を迎える緑丘祭ですが、学生や市民の皆様にも愛される催しとなるよう、委員一同精一杯準備してまいりますので、どうぞ宜しくお願いいたします。



ピアサポートに参加してみませんか

ピア相談 (ピアサポーターによる何でも相談)

ピアサポートとは、履修相談やテストの勉強の仕方、レポートの書き方など学生の持つ悩みなどを学生が一緒に解決しようとする活動です。

過去の相談には、第二外国語のテスト勉強の仕方、学科をどのように決めたか、時間割の組み方などがあります！

サポートという言葉によって堅苦しいものに見えてしまうかもしれませんが、「ちょっと人と話したいな」という時に少しだけ来ることも出来ます！たくさんの相談をゼミ生一同お待ちしております！

- 【ピアサポート】
- * Twitter アカウント : @ouc_peersupport
 - * メールアドレス : ouc.peer@gmail.com

オンラインサークル「ぴあくる」

ぴあくるとは、Slack というアプリを用いてオンライン上で交流するサークルです！昨今の情勢により、主にコミュニティに所属することができなかった方々へ学生交流や繋がり場の提供することを目的としています。

サークル内では、同じ授業を履修している学生同士で意見交換ができたり、部活動やサークルの情報を詳しく知ることができたりします！また、Slack の DM 機能を用いてゼミ生が何でも相談を行っており、気軽に相談することが可能です！

大学生活を充実させるお手伝いをしたいと思っていますので、ぜひご参加ください！

- 【ぴあくる】
- * Twitter アカウント : @ouc_piakuru43
 - * Instagram アカウント : @ouc_piakuru43
 - * メールアドレス : piakuruouc@gmail.com



イベントの開催

杉山ゼミではゼミ内外に向けてのイベントの企画・運営も行なっています。商大生の皆さんの悩みを解消するお手伝いのできるようなイベントを、時期に合わせて開催するようにしています。

後期には学科選択や時間割作成の相談会などを開催する予定なので、学生の皆さんは是非ご参加ください！また、「こんな情報が知りたい」「こんなイベントがあったら参加してみたい」などありましたら、ピア相談・ぴあくるを通してゼミ生に教えてください！

小樽笑店は地域の活性化を目標に活動しています！

コロナ禍以前は、年2回の商店街でのイベント企画や小学校などでのボランティア活動をメインとしていました。

今は中々イベントの企画やボランティア活動が難しいですが、感染対策を行って活動をしています。

昨年度と今年度に行った活動例を2つ紹介します！

・樽笑だより

小学校の子供たち向けに「樽笑だより」を配布しました。

中には子供たちが楽しめるような、間違い探しやクイズなどのコンテンツを盛り込みました！

・夜桜ライトアップ

毎年行っているイベントです。今年度も実施し、当サークル初の感染対策をしたイベントになりました！

本校の美しい桜をライトアップし、装飾品も作り、より美しい夜桜を作りました！

現在、小樽笑店は Youtube チャンネルにて夜桜イベントの活動記録をアップしています。「小樽笑店」で検索するとヒットしますので、ぜひご覧ください！



アルコールと安全につきあいましょう

新型コロナウイルス感染症によって生活上の制限が長期化し、飲酒の場面も様変わりしています。コンパなどの集団での飲酒機会は減っていますが、在宅時間が長くなり自宅での飲酒量が増加したり、オンライン飲み会で長時間飲酒して飲酒量が増加したりするなど、飲酒のコントロールがうまくいかない例も報告されています。もう一度アルコールとの付き合い方を確認して、健康を害することのないようにしましょう。



してはいけない3つのこと

1：未成年者飲酒



20歳未満の飲酒は厳禁です。勧めてはいけませんし、飲もうとする人を止めてください。

2：飲酒運転



自動車だけでなく自転車も原付も飲んだら運転は厳禁です。

3：アルコールハラスメント



飲酒の強要・イッキ飲ませ・意図的な酔いつぶし・飲めない人への配慮を欠くこと・酔ったうえでの迷惑行為

これらは全てアルコールハラスメントです。してはいけませんし、周囲の人がしているのを見たらやめさせてください。

大学生の適量とは？

大学生を含む若い世代は、飲酒量が増えるとそれに比例して死亡率が上がります。大学生は飲酒量が少ない方が害が少なく、飲まないことが最も安全です。

たまにしか飲まないから大丈夫、と思っていませんか。たまにしか飲まないけれど、飲む時は大量に飲む、という飲酒行動をビンジ飲酒と言います。日本の大学生で年1回以上ビンジ飲酒を経験した学生はアルコールによるケガが25.6倍も増加することが報告されました。ビンジ飲酒は急性アルコール中毒、ケガ、けんか、犯罪などを引き起こし、将来の過剰な習慣飲酒にもつながります。たまに飲む時も飲酒量はコントロールしましょう。

飲酒と感染症予防の両立は難しい

アルコールは脳の活動を抑制し、冷静な判断ができなくなります。アルコールで気が大きくなったり判断力が鈍ったりすると、人との距離をとる、手洗いをするなどの感染予防行動がおろそかになりがちです。感染予防行動が求められる場面では飲酒しないことが望ましいです。



自分の飲酒をチェックしてみましょう

自分の飲酒はコントロールできていますか。健康を害するような飲酒になっていないかどうか、AUDIT というテストがありますので、自分の飲酒行動を確認してみましょう。テストは次のサイトで見るすることができます。

<https://www.e-healthnet.mhlw.go.jp/information/dictionary/alcohol/ya-021.html>

編集後記

学園だよりは、毎号、教職員および学生の皆様の協力を得て作成しています。今回も多くの方にご協力いただき、無事学園だよりが完成しました。この場をお借りして感謝申し上げます。今後も、商大生の活動の様子やさまざまな情報を発信していきますので、掲載してほしいトピックがありましたら、学生支援係までご連絡ください！

(学生支援課)

小樽商大の新鮮な情報を配信！

ブログ「商大くんがいく！」

商大職員と学生がタッグを組んで作っている「商大くんがいく！」ブログでは、商大生の活躍はもちろん、学内のさまざまな旬のトピックスがご覧になれます。

https://www.otaru-uc.ac.jp/shoudai_blog/

